

# あてつまんさく

## 新見の農業情報

普及だより 2014年号



新見農業普及指導センター

# 目 次

1	トップトピック	1
	果樹産地の新たな振興	1
2	技術情報	2
	(1) 除草剤を利用した省力・安全な畦畔管理	2
	(2) 大きい粒のシャインマスカットをつくる(2年目)	2
	(3) ももは、大きく産んで大きく育てる	3
	(4) 地域に合うトマト品種はどれだ	3
	(5) 「もも」の香りの「いちご」を試作中	4
	(6) 土はなくとも「りんどう」は育つ	4
3	担い手情報	5
	(1) よく集い、よく学んでます！後継者活動	5
	(2) 新見農業士会が県議と「新見の農業」を語る	5
	(3) 生活交流グループ研修会で元気アップ！	7
◎	ちょっと一息情報(その1)	7
	6次産業化をバックアップ	7
4	普及活動情報	8
	(1) 子牛すくすく好成绩！新飼養体系を導入「井倉牧場」	8
	(2) 就農準備講座：主要品目4コースで開催	8
	(3) 農業経営アドバイザーによる経営指導	9
◎	ちょっと一息情報(その2)	9
	農地集積を機構(岡山県農地中間管理機構)に聞こう	9
5	今年輝いた人	10
	(1) 平成26年度 岡山県うまいくだもの共進会	10
	(マスカット・オブ・アレキサンドリア、シャインマスカット)	10
	(2) 平成26年度 新見市ピオーネ共励会	10
	(3) 平成26年度 新見市桃共励会	11
	(4) 平成26年度 新見市花卉共進会	11
	(5) 第69回 岡山県畜産共進会	12
	(6) 第53回 岡山県枝肉共進会	12
	(7) 平成26年度 岡山県農林漁業功労者表彰	12

表紙写真 左上：子牛の体側 右上：ぶどうの定植  
中央：就農準備講座(りんどうコース)  
左下：イネWCS現地研修会 右下：もも栽培講習

# ■ 1 トップトピック

## 果樹産地の新たな振興

新見市では準高冷地の気候を活かし、ぶどうはピオーネ、ももは白鳳を中心に産地が形成され、市場や消費者から高い評価を得てきました。さらなる発展を目指して、マーケティング手法を取り入れた既存品種のレベルアップや多様な需要に応える次世代フルーツの導入と地域技術確立、産地情報発信に取り組んでいます。

### 1 活動経過

#### (1) 既存品種の品質向上、生産安定

ピオーネの品質を決める重要な要素の一つが着色です。着色向上には、着果量制限と適正な葉面積の確保が重要です。副梢を活用して葉面積を確保する展示ほを設置して、副梢の重要性を啓発しました。

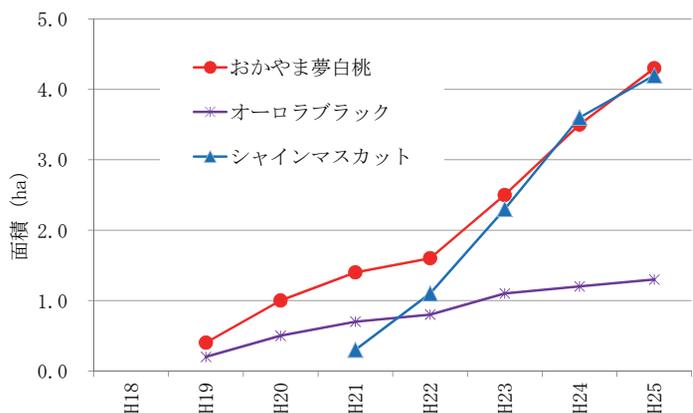
白鳳は、核割れ抑制による生産安定が課題です。果実肥大速度を適正にするために一度に強い摘果を行わないことを基本として、摘蕾の徹底を啓発するとともに、前年秋季の葉面散布効果の実証ほを設置して適応性を検討しています（P.3を参照）。

#### (2) 次世代フルーツの推進と技術確立

シャインマスカットとおかやま夢白桃を推進しています。栽培面積と生産者数は増加していますが、定着するためには儲かることが前提となります。

シャインマスカットは、他産地にはない大粒で高糖度な果房生産を目指して技術検討を行っています。（P.2を参照）

おかやま夢白桃は、大玉高糖度で食味が良く、生理的落果が少なく、県南と出荷競合しにくく有利販売が見込めるので、積極的に推進しています。



次世代フルーツの栽培面積（新見市）

#### (3) 産地情報発信

Facebook を活用した情報発信に取り組み、発芽や開花、成熟等の生育状況、栽培講習会など組織活動の状況を随時発信しており、市場関係者からも好評です。



Facebook を活用した情報発信

### 2 今後の取組

ピオーネは市場の要望に応えられる品質と量の確保、白鳳は品質向上と安定生産、次世代フルーツのシャインマスカットとおかやま夢白桃は、生産部会や関係機関と連携して栽培面積拡大と地域技術確立に取り組んでいきます。

## ■2 技術情報

### (1) 除草剤を利用した省力・安全な畦畔管理

除草剤を利用した畦畔省力管理の実証を行っています。  
平成26年は、非選択性の除草剤（ザクサ液剤）と抑草剤（ダイロンゾル）の混用、雑草を完全に枯らさず草丈を抑制する薬剤（グラスショート液剤）の抑草期間を調査しました。



専用ノズルで除草剤散布

#### 1 実証ほの概要

- (1) 場 所 新見市上熊谷
- (2) 畦畔状況 急傾斜、法面3m以上
- (3) 試験時期 5、7月（ダイロンゾルは7月のみ）
- (4) 試験方法 草刈りは刈払い機、除草剤は動力噴霧器で散布
- (5) 調 査 主な雑草の高さが30cmになるまでの期間（抑草期間）を調査

#### 2 結 果

供試した除草剤では、稲に対する薬害や畦畔の崩れはありませんでした。

ザクサ液剤を1回またはザクサ液剤＋ダイロンゾルを1回散布することで、草刈りを1～3回減らすことができました。しかし、ザクサ液剤を散布すると地上部の雑草は枯れてしまうので、景観が気になる場所にはグラスショート液剤が適しています。

除草処理1回の作業時間と抑草期間

除 草 剤	作業時間(時間/10a)	抑草期間
ザクサ液剤	1	40～50日
ザクサ液剤＋ダイロンゾル	1	60日以上
グラスショート液剤	1	30～40日
草刈り(慣行)	10	30～40日

### (2) 大きい粒のシャインマスカットをつくる（2年目）

シャインマスカットは人気が高く全国的に栽培が広がっており、産地間競争も激化しています。

普及センターでは「新見のシャイン」が生き残るために、

どこにも負けない大粒高糖度生産を提案し、技術確立に取り組んでいます。

平成25年は、樹勢を強くすることと結実後の房づくり作業を早く行うことが果粒肥大に有利であることが判明しました。

平成26年は、発芽前の尿素10倍液散布と副梢葉を活用した枝管理の組合せで大粒生産実証を行いました。

慣行栽培に比べ、副梢を活用し、さらに発芽前の液肥処理を行うこと（試験区1）で果粒肥大がより優れた結果となりました。

シャインマスカットに対する各種処理と成熟果の粒径

処理区	処理内容		成熟果粒横径 (mm)		
	尿素10倍液散布	副梢葉活用	A氏園	B氏園	C氏園
試験区1	あり	あり	28.9	29.6	—
試験区2	なし	あり	28.2	29.5	25.4
慣行区	なし	なし	28.0	29.0	23.8



実証ほ場での調査

### (3) ももは、大きく産んで大きく育てる

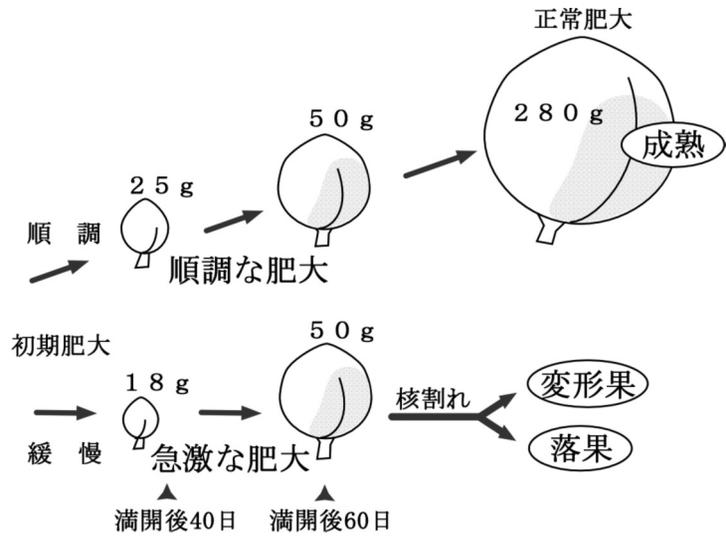
生育初期の肥大が緩慢な果実が、後半に急激に肥大することにより核割れが起こり、変形果の発生を助長する場合があります。また、品種により、核割れから生理的落果が多発する場合もあり、生育初期の果実の肥大不足は、安定生産の妨げになります。



蕾



満開



もも肥大経過の模式図 (果樹誌改)

生育初期の肥大が緩慢になる原因の一つが樹体の充実不良です。枝の伸長が遅くまで続く「遅伸び傾向」の樹は、花芽の発育不良や貯蔵養分不足となり、翌年の初期生育が不良になります。

そこで生育初期の果実の肥大促進効果がある、収穫後（8月下旬～9月中旬）尿素 200 倍液の葉面散布処理について現地実証を行っています。

あらかじめ蕾を大きくし（スタートダッシュ）、開花後の初期肥大を順調に進める（スムーズなバトンタッチ）ことで、核割れや変形果の発生が軽減され、外観の秀品率向上につながります。

### (4) 地域に合うトマト品種はどれだ

平成 26 年の阿新農協トマト部会の品種構成は、桃太郎エイト 39%、桃太郎サニー 41%、桃太郎セレクト 20%でした。

平成 25 年は酷暑と秋の天候不順でセレクトの特徴が発揮できなかったため、桃太郎エイトに変更した生産者が多く見られました。

平成 26 年の夏は平成 25 年とは違った天候不順（記録的な日照不足と多雨）により、長いトマト部会の歴史の中でも前例がないほど栽培の難しい年になりました。

昨今の激しい気象変動の中で、気象条件に合わせた品種の選定にも配慮しており、より安定した収穫量が得られる品種が求められています。

現在、種苗会社と協力して、継続して台木や穂木品種の検討を行っており、平成 26 年は 4 種類の穂木の検討を行い、地域の栽培条件に合った品種選定に取り組んでいます。



生育状況の聞き取り調査

## (5) 「もも」の香りの「いちご」を試作中

新たな特産品として、「桃薫(とうくん)」の試作を行っています。「桃薫」は、(独)農業・食品産業技術総合研究機構が育成した“もも”のようなフルーティーな香りを持つ“いちご”です。最近全国各地で栽培されており、テレビでの紹介番組も数多くあったのでご存じの方もいると思います。

市農林業振興技術者連絡協議会が中心となって、標高540m(露地栽培、ハウス栽培)、350m(ハウス栽培)、220m(露地栽培)の3か所に試作ほを設置し、栽培しています。

平成26年3月に親株を導入し、JA育苗センターで採苗、管理後、9～10月にかけて定植し、順調に生育しています。標高差を利用した新見ならではの作型を実証しています。

うまくいけば、春頃には「桃薫」がお目見えするかもしれません。

“もも”の香りの“いちご”が気になる方は、一般にも苗は販売されています。「桃薫」で検索してみてください。



採苗の様子



定植後の様子

## (6) 土はなくても「りんどう」は育つ

平成23年から土の代わりに粉碎した樹皮をコンテナに詰め、そこにりんどうを植えるユニークな栽培法に取り組んでいます。土での栽培と比べてかん水方法や施肥方法などに工夫が必要ですが、適切に管理すれば品質の良い切り花ができます。

コンテナの中身を入れ替えれば連作を嫌うりんどうでも同じ場所で栽培できますし、もぐらの被害がないのも大きなメリットです。

新見は県下一のりんどう産地です。新しい技術を取り入れながら、関係者が力を合わせて産地のステップアップを図っていきましょう。



粉碎樹皮培地に定植して4年目の株

## ■3 担い手情報

### (1) よく集い、よく学んでます！後継者活動

農業後継者によって運営される新見地方新農業経営者クラブ（会員数36人）の活動を紹介します。

#### 1 課題解決活動（プロジェクト活動）

クラブ員の資質向上と地域の課題解決、特産品開発による地域活性化を目的に、各支部でプロジェクト活動を行っています。平成26年は、炭素循環農法やドライフルーツ製造、水稲のプール育苗などに取り組んでいます。

#### 2 先進地視察研修（11月29～30日）

炭素循環農法を学ぶため、愛媛県と香川県で先進農家視察を行いました。

#### 3 ソフトバレーボール大会（8月24日）

高梁地域のクラブと共催でクラブ対抗ソフトバレーボール大会を大佐で開催しました。県下各地のクラブ員とその家族86人が参加し、交流を深めました。

#### 4 地域イベントへの参加

後継者クラブとして農協祭りに出店し、千屋牛肉のバーベキューを販売し、千屋牛をPRしながら祭りを盛り上げました。

今後も普及指導センターは、後継者の「やりたい！知りたい！」という思いを実現する活動を支援していきます。



炭素循環農法の現地検討会



農協祭りで千屋牛をPR

### (2) 新見農業士会が県議と「新見の農業」を語る

新見市農業士会（会長：橋本澄男、19人）は、毎年、市長や県議会議員と語る会や先進地視察研修を行っています。

平成26年5月27日に、小林義明県議を交えて「新見の農業を語る会」を開きました。参加した農業士11人と「儲かる農業の確立について」をテーマに意見交換を行い、「儲けるためにはコストダウンが必須」「儲かったり、失敗した経験を共有する」「いずれの作目もやり方次第で儲かる道はある」「新規就農者が入りやすい環境と受入体制を作り、きめ細かい支援をしていく」など多くの意見が出ました。農業士は、自らの経営の安定と地域農業の振興、地域の活性化に対する支援を再認識しました。



活発な意見が出た「農業を語る会」

### (3) 生活交流グループ研修会で元気アップ!

阿新地方農村生活交流グループ協議会（会長：角瀬武代、42人）は、毎年4月の総会と10月の移動研修会で会員相互の交流を図っています。

平成26年の研修会では哲多ふるさと市場の活動支援を行っている地域おこし協力隊員の「高齢者が能力を活かし、生産・経済活動を続けることのすばらしさに気づいて欲しい」との話に、日頃の活動意義を再認識しました。

移動研修会は広島県神石高原町の道の駅「さんわ182ステーション」に行きました。直売所には農産物や加工品が豊富で、同じ商品でも容量の違うものを置いたり、「餅コーナー」・「こんにゃくコーナー」などとまとめてあり、利用者が買いやすい工夫がみられました。また、地元食材を使ったレストランでは地域の生活研究グループ員が調理にあたり、「お母さんの味」を提供していました。参加グループは地域のイベントで寿司やおこわを売っているので、1つ1つの味付けや材料等が参考になりました。車中ではお互いに情報交換や近況報告等を行い、グループの枠を超えた仲間づくりにつながりました。



総会後の研修会

## ◎ちょっと一息情報（その1）

### 6次産業化をバックアップ

平成23年3月に「六次産業化法」が施行され、国として6次産業化による農山漁村の雇用確保や所得増大をすすめ、地域活性化につなげていくことになりました。

#### 1 六次産業化法の総合化事業計画の認定

「総合化事業計画」が認定されると、新商品開発や販路拡大、加工・販売施設等の整備に対する支援のほか、認定事業について専門家の助言や支援も受けられます。その場合、認定者が中心となったネットワークを構築する必要があり、そのネットワークを支援するための事業として、「6次産業化ネットワーク活動交付金事業」があります。



- ①推進事業（補助率 2/3 以内又は 1/2 以内）  
ネットワークの構築、新商品開発、販路開拓の取組支援
- ②整備事業（補助率 1/2 以内）  
総合化事業計画かつネットワーク構築に必要な施設の整備

#### 2 サポート体制

##### (1) 岡山県6次産業化コーディネートセンター（岡山県農林水産総合センター内）

農政局や商工団体、県民局、農業普及指導センター等と連携し、情報収集や提供、農林漁業者と商工業者のつなぎ役をします。

##### (2) 岡山県6次産業化サポートセンター（岡山県商工会連合会内）

六次産業化法の総合化事業計画の認定に向けて専門的な支援を行います。総合化事業計画の申請・認定は年3回行われます。申請までにはしっかりした事業計画を立てる必要があります。その際の支援を行います。

##### (3) にいみ地域6次化ふえ

市や農協、商工会議所、商工会と普及センターが集まり情報を共有することで地域の6次産業化の推進を図っています。

## ■4 普及活動情報

### (1) 子牛すくすく好成績！ 新飼養体系を導入「井倉牧場」

井倉牧場は、和牛繁殖経営の省力化や高齢化、労働の補完を目的として建設され、井倉牧場利用組合(地域の肉用牛農家7戸)が管理運営を行っており、哺育牛と育成牛・繁殖牛を預託しています。

平成25年までは、労働力不足により発育も安定していませんでしたが、平成26年から管理人員を増やして、各牛舎の担当を決め、よりきめ細やかな管理を行っています。

また、最も手間のかかる哺乳管理も手作りのほ乳瓶ホルダーにより、省力管理が可能となりました。

同利用組合と関係機関が連携して、毎月行っている発育調査を集中的に実施することで調査結果を飼養管理に反映しやすくなり、発育も大幅に改善しました。平成25年まで100頭以下だった預託牛も141頭まで増加しています。今後も関係機関で飼養管理や経営管理支援を行っていきます。



子牛の体測

子牛の発育(日齢体重 kg/日)

	H24	H25	H26. 12月末
雌子牛	0.94	0.85	0.99
去勢子牛	1.05	0.91	1.05

### (2) 就農準備講座：主要品目4コースで開催

市担い手育成対策協議会は、転職や定年退職後に新たに農業を始めようとする人を対象に、技術習得のための就農準備講座を開催しています。

平成26年はコース別にピオーネ32人、もも6人、トマト6人、りんどう2人が受講しました。講座は平日の午前中を中心に開催し、テキストを利用して栽培知識を学んだ後、園地で実習します。

ベテラン農家による1年間を通した実習は、プロからの技術指導なので「技術を直接見ることができ、質問にも丁寧に答えてもらえるため大変勉強になる」と好評です。

就農準備講座は平成27年も開催する予定で、参加は無料(実費は必要)です。2~3月頃に募集しますので、市内で新たに栽培を考えている人は、普及センターまでお問い合わせください。



りんどうコース(収穫方法を学ぶ)

### (3) 農業経営アドバイザーによる経営指導

普及指導センターは、認定農業者に対して、経営改善支援を行っています。

平成26年は、日本政策金融公庫の農業経営上級アドバイザーを講師として、農業経営の記帳の工夫や経営分析、労務管理について2日間の研修会を開催しました。税理士による農業経営の税務の相談会も開催しました。



工夫して短時間で記帳しよう

### ◎ちょっと一息情報 (その2)

#### 農地集積を機構(岡山県農地中間管理機構)に聞こう

平成26年4月に農地流動化の切り札として機構が設置されました。業務内容は、農地の出し手(地権者)と受け手(耕作者)の繋ぎ役で、中間保有はしません。機構を経由した農地貸借に対して補助事業があり、規模拡大に協力した出し手に補助があります(受け手には農地集積による規模拡大の経営メリットがあるので補助はありません)。

受け手は7月から定期的に募集しています。出し手は随時募集していますが、受け手に比べて少ない状況です。出し手と受け手の話し合いが出来ているケースで活用でき、市内では1つの集落営農法人が補助事業を活用しました。集落営農組合で法人化を検討している場合は、法人化前の資産取得は手続きが煩雑なので、十分検討して活用しましょう。

この事業は出し手に対する補助ですが、この事業を生かすには、出し手と受け手が農地を守るために協力する必要があります。そのためには地域の「人・農地プラン」や集落営農の営農計画で地域農業のビジョンを描くことが重要です。今後は、人・農地プランの話し合いが開催されますので、積極的に参加してください。

#### こんな使い方ができます

リタイアするので農地を貸したいな！ と思ったら…

機構に農地を貸して下さい。  
お借りした農地は機構が担い手に転貸します。

利用権を交換して分散した農地をまとめたいな！ と思ったら…

関係者がそろって機構に農地を貸して下さい。  
機構が担い手の使いやすい形にまとめて転貸します。

新規就農するので農地を借りたいな！ と思ったら…

機構から農地を借りられます。



#### 地域ぐるみで活用しましょう

- 「人・農地プラン」の話合いの中で機構を活用して、地域内の農地利用の再編を進めましょう！
- 地域で機構にまとめた農地を貸し付けると、地域に協力金が支払われます。
- 青年就農給付金、農の雇用事業、スーパーL資金等の支援は、引き続き受けられます。

(備中県民局農業振興課内 岡山県担い手育成財団 機構担当 TEL 086 - 434 - 7030)

## ■5 今年輝いた人

(このコーナーは敬称を略させていただきます。)

### (1) 平成26年度 岡山県うまいくだもの共進会 (マスカット・オブ・アレキサンドリア、シャインマスカット)

シャインマスカットの部

岡山県うまいくだものづくり推進本部長賞

◎優 秀 賞

梅形 宣好 (豊永)

福田 昇 (豊永)

◎奨 励 賞

藤野 幸一 (足見) 中山 正己 (豊永)

米谷 信義 (豊永) 武岡 裕和 (豊永)

岡山県うまいくだものづくり推進本部主催で平成26年7月30日、9月29日の2回に分けて開催され、出品点数はシャインマスカットが合計74点あり、新見市からは15点が出品されました。シャインマスカットは平均果粒重18.0gと粒が大きく、平均糖度17.7度と糖度も高く食味も良好でした。



### (2) 平成26年度 新見市ピオーネ共励会

◎最優秀賞 岡山県知事賞

◎優 秀 賞 新見市長賞

〃 備中県民局農林水産事業部長賞

〃 岡山県農業協同組合中央会長賞

〃 全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞

〃 岡山県農業共済組合連合会長賞

古川 大輔 (草間)

植田 正二 (豊永)

吉岡 朝晴 (豊永)

河原 咲美 (豊永)

吉岡 博 (豊永)

藤野 功 (草間)

平成26年9月22日に開催され、今年は新見公立短大生にも審査員として参加してもらいました。生産農家53戸が4房を2kg箱に詰めて出品し、平均果粒重18.1g、平均糖度16.7度と優れたものでした。



### (3) 平成 26 年度 新見市桃共励会

- |       |                |            |
|-------|----------------|------------|
| ◎最優秀賞 | 新見市長賞          | 林 一雄 (草間)  |
| ◎優秀賞  | 備中県民局長賞        | 長岡美佐江 (草間) |
| 〃     | 備中県民局農林水産事業部長賞 | 谷口 章 (草間)  |
| 〃     | 岡山県農業協同組合中央会長賞 | 宮坂 要治 (草間) |
| 〃     | 全農岡山県本部長賞      | 藤井 敏夫 (草間) |

平成 26 年 7 月 31 日に開催され、白鳳 24 点、浅間白桃 13 点、まどか 5 点、あかつき 1 点、あまづくし 1 点、合計 44 点の出品があり、糖度は平均 13.7 度、最高 17.0 度でした。



### (4) 平成 26 年度 新見市花卉共進会

- |       |                    |                   |
|-------|--------------------|-------------------|
| ◎最優秀賞 | 新見市長賞              | (りんどう) 安田 毅 (哲西)  |
| ◎優秀賞  | 備中県民局長賞            | (りんどう) 奥山 亮 (哲多)  |
| 〃     | 備中県民局農林水産事業部長賞     | (りんどう) 上田ちず子 (哲西) |
| 〃     | 岡山県農業協同組合中央会長賞     | (りんどう) 三好 充 (哲西)  |
| 〃     | 全国農業協同組合連合会岡山県本部長賞 | (き く) 伊東 政隆 (神郷)  |
| 〃     | 〃                  | (りんどう) 田辺 薫明 (神郷) |

平成 26 年 9 月 17 日に開催され、りんどう 27 点、きく 5 点、トルコギキョウ 1 点、合計 33 点の出品がありました。翌日一般公開されました。



## (5) 第69回 岡山県畜産共進会

- ◎優等賞首席（グランドチャンピオン） 若雌区の4「第8あおき」 有藤 剛（哲多）  
◎優等賞首席（リザーブチャンピオン） 若雌区の1「しんさかえ3」 新木 省二（大佐）

平成26年10月19日、真庭市の総合家畜市場で開催されました。県内各地の予選を勝ち抜いた和牛52頭、乳牛95頭が出場しました。新見市からは13頭が優等賞に選ばれ、団体優勝も獲得しました。



## (6) 第53回 岡山県枝肉共進会

- ◎和牛・雌の部 最優秀賞首席 峠田一也（千屋）  
◎肉豚の部 最優秀賞首席 岡山J A畜産（株）荒戸山S P F農場（哲多）

平成26年12月4日、岡山県営食肉地方卸売市場で開催されました。県内から、和牛去勢牛50頭、和牛雌15頭、肉豚30セット（2頭1組）が出場しました。

## (7) 平成26年度 岡山県農林漁業功労者表彰

- ◎知事表彰（農産部門）  
橋本澄男（神郷）



- ◎農林水産部長表彰（畜産部門）  
安藤繁機（千屋）



- 峠田一也（千屋）



平成26年10月23日、県庁で長年の農林漁業振興のための献身的な活動が特に顕著なことが評価され表彰されました。

